

# 須磨シニアコミュニティ

## 令和1年度事業報告

### <従業員数>

正職員	61名		
P職員	20名		
派遣職員	1名	合計	82名

### 「重点項目」

- 1・経営基盤の安定
- 2・人材の育成と人材確保
- 3・働きやすい労働環境への整備と管理
- 4・管理体制の強化

### 「事業報告」

#### 1・経営基盤の安定

今年度については営業の強化を目標として年初より取り組んでいたが、年度初めに入院者が皆無の状況より増加し6月以降は退所者も増加、年間で19名の退所となった。退所者の埋め合わせとしてショート利用者より入所に繋げることによりショート稼働率も大きな影響を受け利用増加を挽回することが出来なかった。従って特養稼働率は92.95%(目標比▲1.55%)、ショートステイは91.41%(目標比▲11.59%)と目標比大幅比大幅な未達となった。

ディサービスについては夏に数人の従業員の退職があったが、立て直しを図り稼働率は69.32%(目標値4.32%)と順調推移した。

居宅については人員の増加を図り件数増加を着実に増やした。予防も合わせ稼働率88.71%となっている。

ベースとなる特養・SSの収益が大幅に目標未達となったことが赤字要因となっている。

事業所名	目標値(%)	稼働率(%)	前年度稼働率(%)
特別養護老人ホーム	稼働率 94.5	92.95	95.1
短期入所生活介護	稼働率 103	91.41	96.4
通所介護	稼働率 65.0	69.32	62.4
ケアプランセンター	介護給付 51件	88.07	97.1
	介護予防 8件	96.87	75.00

#### 2・人材育成と人材確保

年2回の全員参加の全体会議・研修会を始めとして、新規採用者研修や身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修など実施しました。目標としていた外部研修への積極参加については延べ人数75名(昨年65名)に増加した。しかし外部講師を招くなどの講習については専門的な内容でサラヤによるインフルエンザ対策や王子ネピアによる紙おむつの勉強会、平野歯科による口腔ケア研修等となった。

採用においては中途採用者を中心に正職員として 19 名(職安—5 名・知人—2 名・紹介業者—12 名)雇用した。非正規職員として 19 名(HP—1 名、知人—5 名・紹介業者—1 名・派遣—3 名)採用した。半面退職者については全体で 30 名(介護職—5 名・看護師—14 名・ディサービス 8 名・あんすこ東須磨—3 名)差引 1 名の減少となった。昨年は新規学卒者が 1 名も採用のない状況であるが求人倍率が 1.5 倍と困難な状態が続いている。

神戸市高齢者介護士認定試験を 1 名受講させ、キャリアアップ支援金を受けるべく取り組んだが残念ながら合格には至らなかった。

### 3・働きやすい労働環境への整備と管理

部署ごとの適正人員を確保すべく年度初めより取り組んだが、ディサービスで夏に正職・パート 5 名が退職するなど採用に難航したり、看護師の採用についても退職者が多く安定しない状況となった。結果的に人員不足の状態が続いており労働環境としては働くやすい状況でない部署もある。特養については退職者が少なく残業も減少してきており改善傾向がみられる。

メンタルヘルスチェックは実施されているが産業医への申し出がない状態である。

昨年 4 月より開始された年次有給休暇 5 日の取得をできるように進めており、4 月基準の方は全員取得することができている。今後もお取得しやすい環境を整備して働き方改革をすすめていく。

### 4・管理体制の強化

従来より改訂されず創業以来使用してきたマニュアルなどの更新を積極的に行った。また新規に必要なマニュアルの作成や改定も行った。

各種委員会活動については、人員構成を変更するなど対応したが、また有効に機能しているか確認の段階であり次年度さらに活動内容見直ししていく。

# 令和1年度 施設内研修

社会福祉法人 弘英会 須磨シニアコミュニティ

N O	日 付	人 数	氏名	講師	研修内容	場所
1	4/1 5	1 名	廣瀬	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
2	4/1 7	1 名	山根	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
3	4/5	15 名	井口 他14名	防災委員：宇多	防災訓練	施設内・外
	4/1 2	13 名	岡部 他12名	防災委員：宇多	防災訓練	施設内・外
	4/1 9	19 名	信川 他18名	久保防火管理者	防災訓練	施設内・外
	4/2 6	15 名	山下 他14名	防災委員：宇多	防災訓練	施設内・外
4	5/2 8	1 名	岩本	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
5	5/3 0	23 名	黒田 他22名	小山主任 リーダー：阪本	虐待防止研修	地域交流室
6	5/3 1	10 名	光成 他9名	介護職：黒田	ユマニチュードの基本	デイサービス
7	5/1 7	9 名	辻井 他5名	防災委員	防災訓練（夜間震災想定訓練） さつき園職員3名	施設内
	5/2 4	7 名	向田 他6名	防災委員	防災訓練（夜間震災想定訓練）	施設内
	5/3 1	5 名	河田 他4名	防災委員	防災訓練（夜間震災想定訓練）	施設内
8	6/2 4	1 名	林	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
9	6/6	9 名	濱中 他8名	オーギー技研	特殊浴槽導入時研修会	デイサービス
10	6/1 4	21 名	山下 他56名	サラヤ：藤井様	福祉施設における食中毒対策	地域交流室
11	6/2 5	12 名	坂井 他11名	防災委員	総合防災訓練	施設内
12	7/2	35 名 (報告書のみ5 名)	向田 他34名	施設長：坪内	①高齢者虐待防止に向けて ②身体拘束廃止に関する指針 ③平成30年年度事業・理事会等 の報告	地域交流室

	7/4	30 名	山下 他29名	施設長：坪内	同上 ①②③	地域交流室
	7/1 1	28 名	安永 他27名	施設長：坪内	同上 ①②③	地域交流室
13	7/1 8	10 名	チトラ 他9名	教育推進委員 ：井貫・宮垣	接遇勉強会	地域交流室
14	7/1 9	11 名	小濱 他12名	防災委員：久保 宇多	震災（津波）想定訓練	地域交流室
15	7/3 0	8 名	濱中 他7名	施設長・久保相談員	安全運転講習会	車庫前
16	8/1	3 名	安井 他2名	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
	8/1 9	3 名	浅野 他2名	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
17	8/2 3	24 名	竹下 他23名	須磨警察 ：生活安全課	防犯研修	地域交流室
18	8/2 6	3 名	E P A 介護福祉 士候補生 ：1年生3名	小山主任・福島副主任・阪本リ ーダー	E P A 介護福祉士候補生 介護分野研修 (申し送り)	地域交流室
19	8/2 6	7 名	小山 他6名	施設長：坪内	中間管理職研修	地域交流室
20	8/2 8	11 名	嵐 他10名	防災委員	防災訓練（夜間震災想定訓練）	施設内
21	8/3 0	23 名	小島 他22名	身体拘束・高齢者虐待防止委員 会：宮垣リーダー	身体拘束廃止研修会 ①14：30～15：00 ②15：00～15：30	地域交流室
22	9/7	8 名	ウガ 他7名	防災委員	防災訓練（消火訓練）	施設内
23	9/1 2	11 名	稲垣 他10名	防災委員	防災訓練（消火訓練）	施設内
24	9/1 6	2 名	天羽 他1名	施設長：坪内	新規採用職員研修	地域交流室
25	9/2 0	1 名	井伊	施設長：坪内	新規採用職員研修	地域交流室
26	9/2 6	3 名	E P A 介護福祉 士候補生 ：1年生3名	小山主任・福島副主任・宮垣リ ーダー	E P A 介護福祉士候補生 介護分野研修 (事故報告書研修)	地域交流室
27	9/1 7	12 名	山川 他10名	防災委員： 久保・阪本	防災訓練	施設内・外
28	9/2 8	10 名	森田 他9名	防災委員： 久保・阪本・宇多	防災訓練	施設内・外

29	10/ 1	1 名	岡田	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
30	10/ 17	3 名	E P A 介護福祉 士候補生 ：1年生3名	小山主任・福島副主任	E P A 介護福祉士候補生 介護分野研修 (申し送りについて)	地域交流室
31	10/ 21	15 名	常 他14名	平野歯科	口腔ケアについて「誤嚥性肺炎 について」	地域交流室
32	11/ 21	3 名	E P A 介護福祉 士候補生 ：1年生3名	福島副主任 阪本リーダー	E P A 介護福祉士候補生 介護分野研修 (事故報告書の書き方について )	地域交流室
33	11/ 22	20 名	廣瀬 他19名	(株)サラヤ	高齢者施設におけるインフル エンザ対策	地域交流室
			不参加者 29名	(株)サラヤ 資料	ユニット内研修 (高齢者施設におけるインフル エンザ対策)	
34	11/ 8 11/ 16 112 1 11/ 30	6 名 9 名 7 名 7 名	三丸 他5名 本多 他8名 井伊 他6名 西村 他6名	感染防止員会 (竹下・中村)	嘔吐物処理方法について	地域交流室
35	11/ 28	7 名	高甫 他6名	防災委員：久保	防災訓練研修(総合防災)	地域交流室・デイ サービス
36	11/ 29	12 名	小濱 他11名	防災委員： 久保・宇多	防災訓練(夜間想定)	施設内
37	12/ 2	3 名	大串 他2名	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
38	12/ 9	1 名	本谷	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
39	12/ 19	6 名	嵐 他5名	介護職員： 藤本・前川	腰痛予防	地域交流室
40	12/ 19	3 名	E P A 介護福祉 士候補生 ：1年生3名	小山主任・竹下宮垣リーダー	E P A 介護福祉士候補生 介護分野研修 (申し送り 書く・聞く・話す)	地域交流室
41	12/ 21	18 名	河田 他17名	施設長：坪内 福島副主任	身体拘束廃止及び虐待防止勉強 会	地域交流室
42	12/ 13	13	小島 他12名	防災委員：	防災訓練(夜間想定)	施設内

	27	名		久保・宇多		
43	1/1 3	4 名	新名 他3名	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
44	1/1 6	3 名	EPA介護福祉士候補生 ：1年生3名	小山主任・福島副主任	EPA介護福祉士候補生 介護分野研修 (基本的介護技術の講義と実技)	地域交流室
45	1/2 4	14 名	小濱 他13名	防災委員： 久保他	防災訓練（非常食）	各部署内
46	1/3 1	6 名	畑中 他5名	防災委員： 久保・宇多	防災訓練（津波想定避難訓練）	施設内非常階段
47	2/3	2 名	石田 他1名	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
48	2/2 0	3 名	EPA介護福祉士候補生 ：1年生3名	竹下リーダー・ 阪本リーダー	EPA介護福祉士候補生 介護分野研修 (事故報告書の書き方)	地域交流室
49	2/2 0 2/2 7	14 名 13 名	外浦 他13名 前川 他12名	(株)王子ネピア	紙おむつの勉強会	地域交流室
50	2/2 8	6 名	城ヶ峰 他5名	防災委員： 久保・宇多	防災訓練（福祉避難所について）	地域交流室
51	3/2	2 名	井澤 他1名	施設長：坪内	新規採用職員研修	介護者教育室
52	3/1 9	3 名	EPA介護福祉士候補生 ：1年生3名	竹下リーダー・ 阪本リーダー	EPA介護福祉士候補生 介護分野研修 (申し送り)	地域交流室
53	3/2 0	9 名	光成 他8名	防災委員： 久保・宇多	河川氾濫想定避難訓練	施設内
54	3/2 3	3 名	EPA介護福祉士候補生 ：1年生3名	竹下リーダー・ 阪本リーダー	EPA介護福祉士候補生 介護分野研修 (緊急時対応について)	地域交流室

# 令和1年度 施設外研修

特別養護老人ホーム 弘英会 須磨シニアコミュニティ

N O	日 付	人 数	職務：氏名	研修名	研修先
1	4/15	1 名	リーダー：阪本	介護士会第1回「人材育成について～私の施設での取り組み」	神戸市立総合福祉センター
2	4/18	1 名	居宅：井口	薬剤師による訪問指導の実際[在宅医療講座]	須磨区 医師会館
3	5/14	1 名	居宅：福元	平成31年度第1回えがおの窓口連絡会	マインハウス
4	5/25	1 名	介護職：東	2019年度神戸市高齢者介護士講習会①	こうべ市民福祉交流センター
	6/4	2 名	介護職：畑中 リーダー：阪本	介護士会第2回「認知症の盲点」対人援助職としての道標について考える	神戸市立総合福祉センター
5	6/6	1 名	居宅：福元	第1回須磨区他職種連携検討会プログラム	須磨区役所4階多目的室
6	6/13	1 名	相談員：久保	地域における見取りケア 介護施設における看取りの支援	神戸市立総合福祉センター
7	6/14	1 名	介護職：東	2019年度神戸市高齢者介護士講習会②	こうべ市民福祉交流センター
8	6/24	5 名	介護職：アスグラ・アクネス・ アデ・ハルマ・チトラ	外国人介護福祉士候補者合同学習会：情報交流会の開催について	兵庫県中央労働センター
9	6/26	1 名	副施設長：齊木	平成31年度「感染症対策基礎講座」	神戸市立新長田勤労市民センター別館 ビフレホール
10	6/26	2 名	介護職：稲垣 介護職：河田	接遇対応基礎研修	兵庫県学校厚生会館3階
11	6/28	1 名	栄養士：山下	令和元年度栄養士会 総会・第1回研修会	兵庫県学校厚生会館3階
12	6/29	1 名	介護職：東	2019年度神戸市高齢者介護士講習会③	こうべ市民福祉交流センター
13	7/5	1 名	施設長：坪内	法令遵守・職業倫理などに関する研修	新長田ビフレホール
14	7/5	1 名	リーダー：竹下	安全なケアの業務改善研修（腰痛予防）	総合リハビリテーションセンター内
15	7/5 7/6	1 名	介護職：前川	腰痛予防推進研修 介護職員に向けたノーリフティングケア1日目・2日目	総合リハビリテーションセンター
16	7/18	1 名	居宅：井口	第11回在宅医療講座	須磨区医師会館2階

17	7/20	1名	介護職：アヌグラ	H29年度入国候補者対象第1回集合研修	大阪アカデミア
18	7/25	2名	介護職：稲垣 介護職：河田	接遇対応レベルアップ研修	兵庫県学校厚生会館
19	7/31	2名	リーダー：阪本 リーダー：宇多	介護士会 第1回 東・中央合同ブロック	モーツアルト兵庫
20	8/5	1名	栄養士：山下	令和元年度 神戸市特定給食施設研修会	兵庫県民会館9階
21	8/16	1名	施設長：坪内	介護職員等特定処遇改善加算研修会	たちばな職員研修センター
22	8/19	1名	居宅：井口	須磨本区えがおの窓口連絡会	須磨区役所2階
23	8/20 8/23 9/4 9/16	1名	介護副主任：福島	介護実習指導者講習会	兵庫県福祉会館
24	9/4	1名	ケアマネ：魚谷	神戸市認定調査員 現任者研修	神戸市勤労会館
25	9/13	1名	相談員：久保	相談員会 第1回フレッシュ研修会	総合福祉センター4階
26	10/1 6	2名	居宅：井口 副施設長：斉木	須磨区権利擁護研修会	須磨区役所4階大ホール
27	10/1 8	2名	居宅：井口 副施設長：斉木	介護支援専門員 スキルアップセミナー	三宮研修センター6階
28	10/1 9	1名	副施設長：斉木	看護師会第2回研修会「急変時の対応について」	神戸市総合福祉センター内
29	10/2 5	1名	居宅：福元	第1回通所介護事業所連絡会	須磨区役所健康教育室
30	11/1	1名	ケアマネ：魚谷	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修A(後期)	神戸ファッションマー ト9階ホールイオ
31	11/1	1名	リーダー：宮垣	ハラスメント：虐待防止のためのアンガーマネジメント研修	近畿老人福祉施設協議会
32	11/8	1名	栄養士：山下	栄養士会・総会及び第2回研修会	たちばな職員研修センター
33	11/12	1名	副施設長：斉木	介護現場でできる感染対策	神戸市医師会館
34	11/12	3名	介護職：アクネス・ハルマ・チトラ	平成30年度入国候補者対象集合研修	大阪社会福祉指導センター
35	11/18	1名	副施設長：斉木	ノロウイルス食中毒予防実践研修会	三ノ宮東急REIホテル



36	11/19	1名	居宅：福元	第3回えがおの窓口連絡会	須磨在宅福祉センター3階
37	11/21	1名	リーダー：緒方	介護事故予防・事故事後対策研修	兵庫県民会館
38	11/26	1名	リーダー：阪本	介護士会第2回「働き方改革について」	特養オービーホーム
39	12/2	5名	介護職：アヌグラ・アクネス・アデ・ハルマ・チトラ	外国人介護福祉士候補者合同学習	兵庫県中央労働センター
40	12/15	1名	介護職員：本多	介護保険事業所従事者口腔ケア実技研修会	神戸市医師会付属歯科診療所
41	12/24	1名	相談員：久保	防火講習会（外浜住宅）	外浜住宅2号棟駐車場
42	1/21	1名	居宅：福元	ストレスとの上手な付き合い方 実践ストレスマネジメント	須磨区役所4階多目的室
43	1/24～25	2名	介護職：アヌグラ・アデ	平成29年度入国候補者第2回集合研修	大阪アカデミー
44	1/29	1名	施設長：坪内	廃棄物管理者責任者研修	神戸文化ホール中ホール
45	1/30	1名	リーダー：阪本	老施連福祉プロジェクト	横尾中学校体育館
46	2/4	1名	介護職員：福森	介護技術講座「持ち上げない介護技術」	こうべ市民福祉交流センター
47	2/5～6	1名	ケアマネ：魚谷	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修A（後期）	兵庫県福祉研修人材センター
48	2/13	1名	居宅：井口	若宮地区 地域ケア会議	須磨シニアコミュニティ 4階地域交流室
49	2/17	1名	リーダー：阪本	介護士会第3回東・中央合同ブロック会	神戸市総合福祉センター
50	2/19	2名	相談員：久保	ショート担当者と居宅ケアマネ連絡会	友が丘YUAI
51	2/19	1名	介護職員：小濱	介護職員の急変時対応研修	神戸市立医療センター 中央市民病院
52	2/20	2名	介護職：アヌグラ・アデ	介護技術「コミュニケーション」研修	兵庫県福祉センター
53	2/21	1名	リーダー：阪本	老施連福祉プロジェクト	西落合中学校体育館

## ●特別養護老人ホーム

特養入所定員 60名  
SS入所定員 20名  
介護正職員数 41名  
介護P職員数 11名 派遣1名  
看護師職員数 3名 P職員1名 派遣0名

### <特養生活相談員>

今期のテーマ「入所して良かったと選ばれる施設を目指す」

今期計画 1、実質稼働率 94.5%の達成  
2、利用者、家族ニーズの把握

#### 1、実質稼働率 94.5%の達成

- ①入所希望者の中から、ショートステイ、入所に繋げる方の把握をし、利用に繋げる。  
⇒入所希望者の中から全員ではないが、ロングショートを経て特養へ入所して頂いた。
- ②病院の地域連携室、ご家族との連携をし、早めの退院調整を行う。  
⇒退院への調整は各病院関係者及び、ケアマネ、医務との連携の上で退院へと繋がった。
- ③病院、老健、グループホームへの開拓を行い、利用者の紹介依頼を行う。  
⇒看取りが出来ない事から、病院からの入所は相談の段階で終わる事があった。相談依頼はしていたが、中には居住費が高い事で敬遠されたケースや精神科の定期的な往診を希望されたケースもあり、利用に繋げる事が出来なかった。  
以前は入居者のご家族は遠方の方も居られたが、ここ最近では近い方が多い。入院時や受診時に協力を求めたり、面会やカンファレンスの際にも来てもらうケースがある事から、今後なるべく近い方での入居を勧めたい。  
病院や老健、グループホーム等への開拓は、以前から関係性のあるところからの紹介もあったので、何かで繋げておく事も大切であると再認識した。  
費用の負担面は大きいですが、個室での過ごし方や立地条件をアピールしてきたが、外出行事などの要望があり活かせていなかった。

以上の結果にて目標稼働率は未達成の92.95%となった。

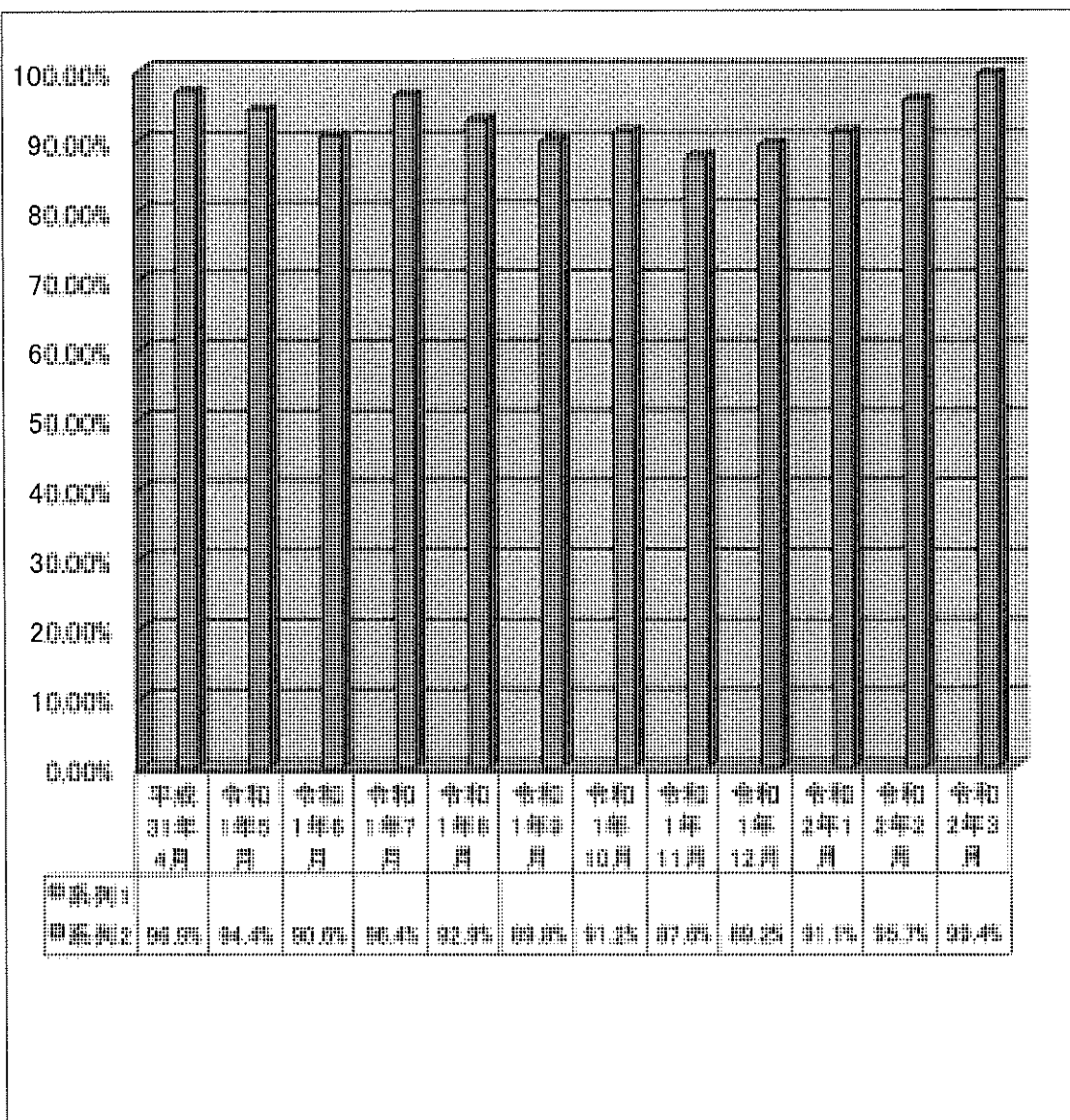
#### 2、利用者、家族ニーズの把握

- ①日頃よりコミュニケーションを図り、要望、ニーズを捉える。  
⇒食品の持ち込みの制限をより具体化するなど、面会時間も含め改善を図った。
- ②日頃から利用者の状態を伝えていく。  
⇒個々の状態はユニットから配信出来ていたと思われるが、医療面を含めた連携においては十分とは言い難い面もあった。
- ③季節に応じた行事等を検討する。  
⇒行事委員より初めて敬老会を実施するなど課題はあったと思うが実行されてよかった。

令和1年度稼働率

(特養)

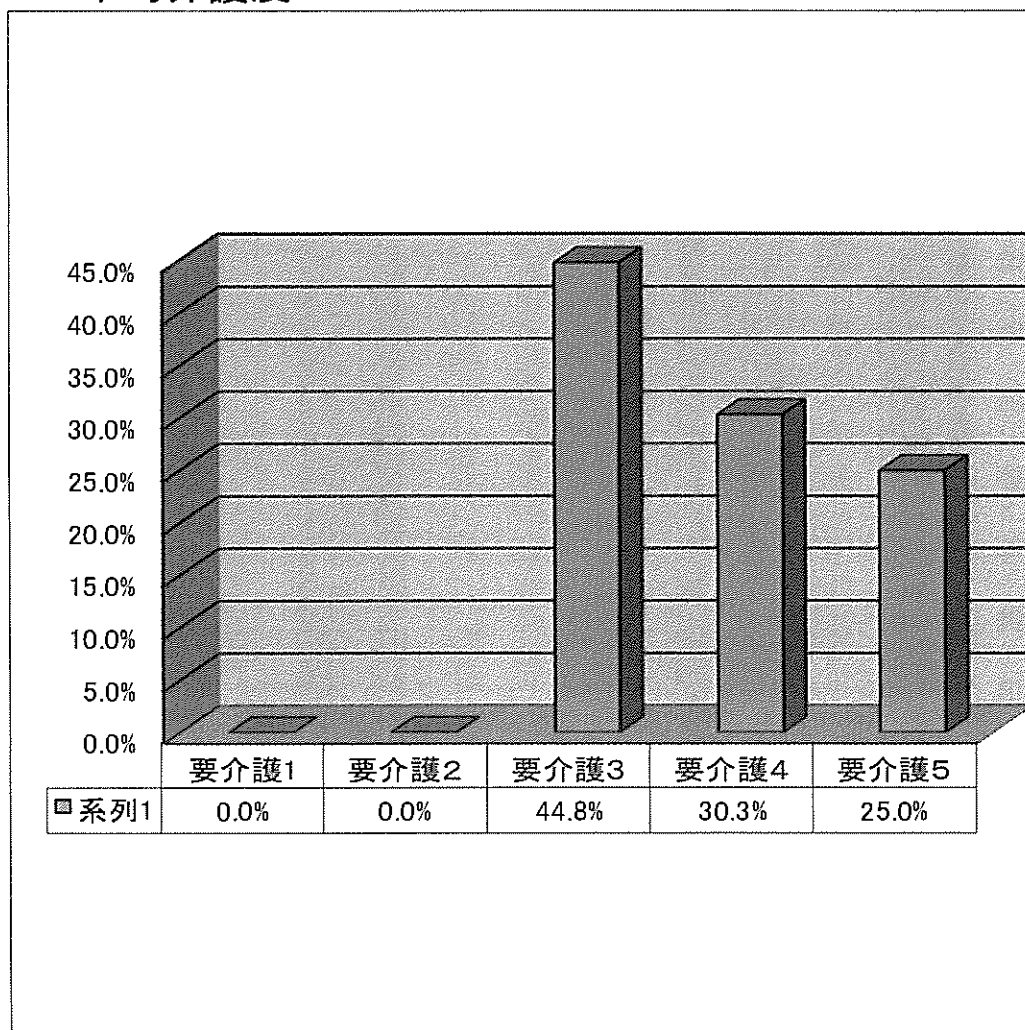
	日数	利用実日数	稼働率
平成31年4月	1,800	1,745	96.9%
令和1年5月	1,860	1,756	94.4%
令和1年6月	1,800	1,631	90.6%
令和1年7月	1,860	1,793	96.4%
令和1年8月	1,860	1,728	92.9%
令和1年9月	1,800	1,617	89.8%
令和1年10月	1,860	1,696	91.2%
令和1年11月	1,800	1,577	87.6%
令和1年12月	1,860	1,660	89.2%
令和2年1月	1,860	1,695	91.1%
令和2年2月	1,740	1,665	95.7%
令和2年3月	1,860	1,848	99.4%
平均	21,960	20,411	92.9%



## 介護度別利用日数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成31年4月	0	0	661	638	446
令和1年5月	0	0	675	653	428
令和1年6月	0	0	618	603	410
令和1年7月	0	0	794	541	458
令和1年8月	0	0	806	478	444
令和1年9月	0	0	809	427	381
令和1年10月	0	0	821	500	375
令和1年11月	0	0	733	470	374
令和1年12月	0	0	790	513	357
令和2年1月	0	0	817	435	443
令和2年2月	0	0	783	427	455
令和2年3月	0	0	832	496	520
合計	0	0	9139	6181	5091
割合	0.0%	0.0%	44.8%	30.3%	25.0%

平均介護度3.83

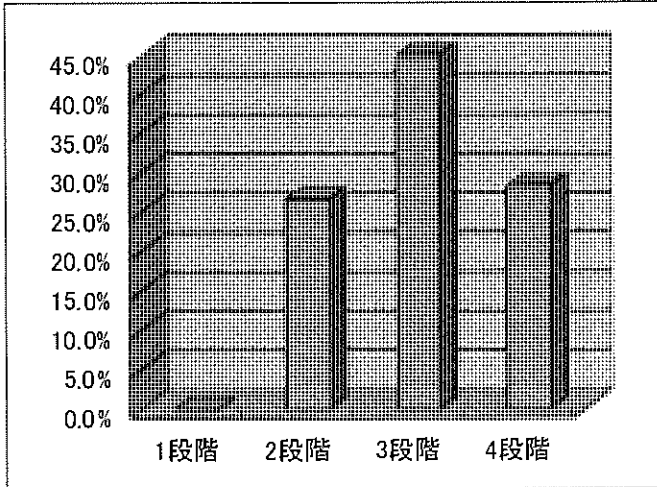


## 負担段階別

R2.3現在の特養入居者60名

1段階 2段階 3段階 4段階 合計

平成31年度 (令和元年度)	0	16	27	17	60
割合	0.0%	26.7%	45.0%	28.3%	

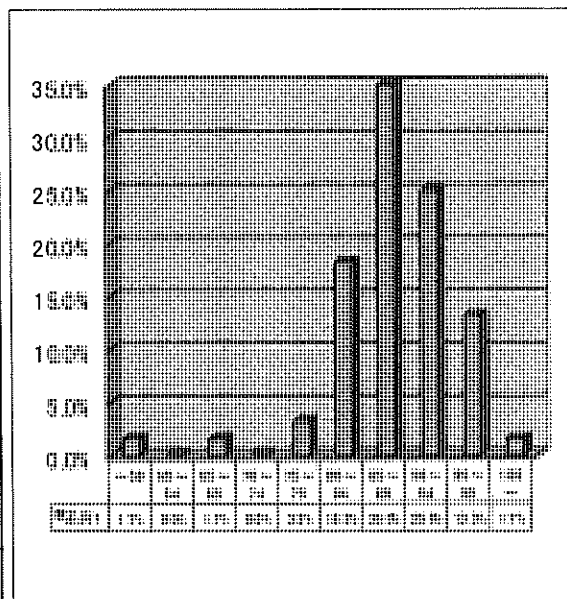


## 年齢別

R2.3の特養入居者60名

男 女

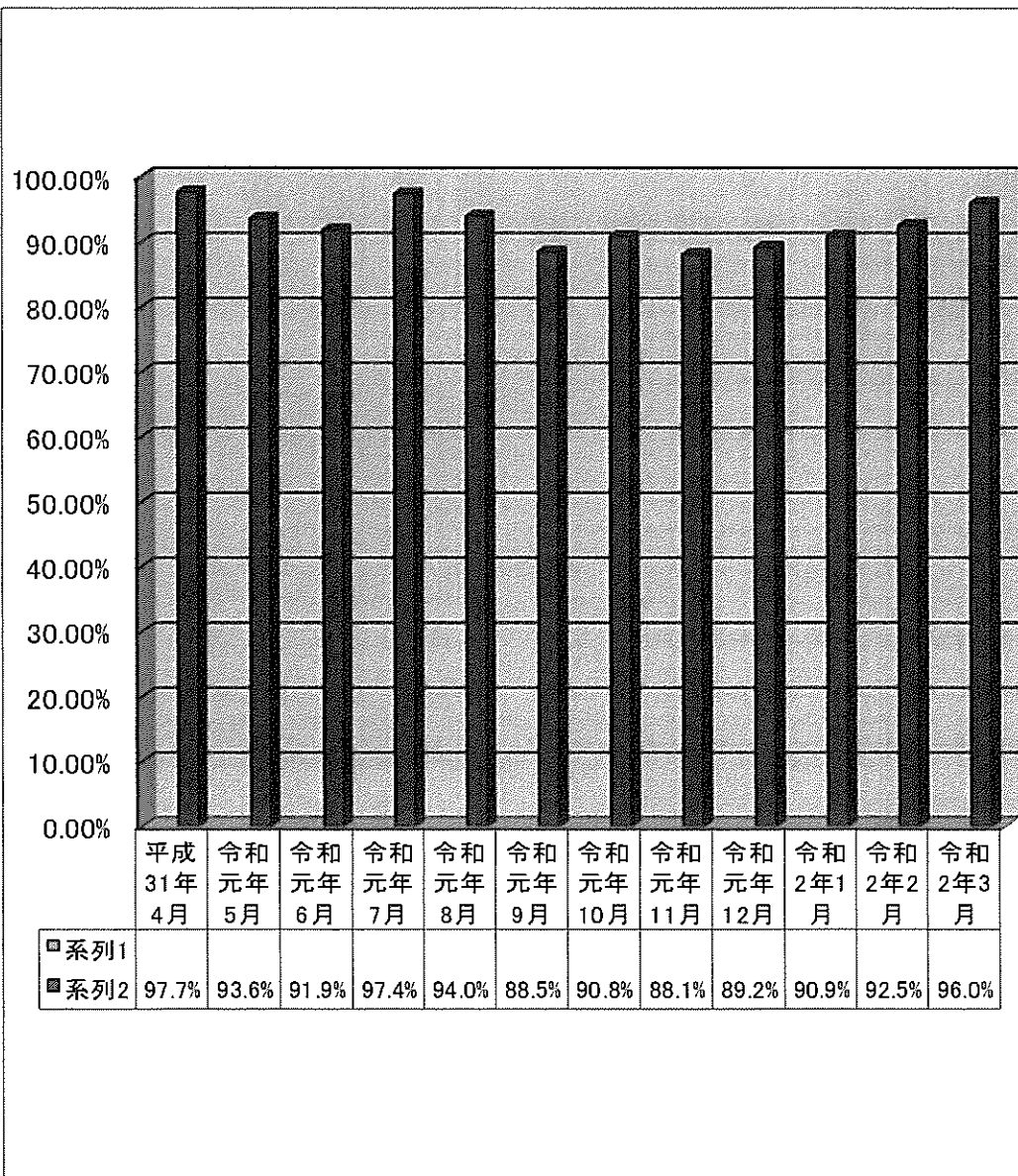
年齢	男	女	合計	割合
～59	1	0	1	1.7%
60～64	0	0	0	0.0%
65～69	1	0	1	1.7%
70～74	0	0	0	0.0%
75～79	0	2	2	3.3%
80～84	2	9	11	18.3%
85～89	3	18	21	35.0%
90～94	2	13	15	25.0%
95～99	1	7	8	13.3%
100～	0	1	1	1.7%
合計	10	50	60	100.0%



平均87.98歳

# 令和1年度特養・ショート合算稼働率

	日数	利用実日数	稼働率
平成31年4月	2,400	2,345	97.7%
令和元年5月	2,480	2,322	93.6%
令和元年6月	2,400	2,205	91.9%
令和元年7月	2,480	2,416	97.4%
令和元年8月	2,480	2,330	94.0%
令和元年9月	2,400	2,124	88.5%
令和元年10月	2,480	2,253	90.8%
令和元年11月	2,400	2,114	88.1%
令和元年12月	2,480	2,211	89.2%
令和2年1月	2,480	2,254	90.9%
令和2年2月	2,320	2,147	92.5%
令和2年3月	2,480	2,381	96.0%
平均	29,280	27,102	92.6%



## <特養介護職員>

今期のテーマ 「原点回帰」

- 今期計画
- 1、人材育成に努める
  - 2、辞めない職場環境作り
  - 3、サービスの質の向上
  - 4、稼働率の向上に努める
  - 5、各ユニットの目標

### 1、人材育成に努める

- ①教育推進委員会主催による施設内勉強会に参加できた。
- ②概ね月1回以上は外部研修に参加できた。
- ③EPA 介護福祉士候補者の計画に基づき2年生はテスト前の予習、1年生は事故や申し送りの勉強会を実施した。
- ④介護マニュアルを使用した新人研修の実施までは出来なかった。

### 2、辞めない職場環境作り

- ①年5回の有給休暇の取得は達成できた。
- ②阪本リーダーが担当し介護士会へ参加した。全てではないが内容をリーダー会議で報告し情報を共有した。
- ③超過勤務削減に努める。

### 3、サービスの質の向上

- ①高齢者虐待防止身体拘束廃止委員会主催により勉強会への参加、チェックリストを実施したが新人職員による不適切ケアと思われる事案があり神戸市に報告した。
- ②定期的な人事異動は実施できなかった。
- ③報告・連絡・相談は徹底できたが一部情報の伝達で上手く出来なかったケースもあった。
- ④感染対策委員会主体に3ヵ月に1回の5Sチェックシートを実施しユニット内の美化に努めた。

### 4、稼働率の向上に努める

- ①インフルエンザや事故が直接的な原因で入院に至るケースはなかった。
- ②腰痛予防推進研修(2名)と介護技術講習(1名)に参加する。腰痛予防推進研修については教育推進委員会にてフィードバック研修を実施した。
- ③歯科往診記録及び口腔機能維持管理に関わる助言をユニット内で共有することはできたが誤嚥性肺炎による入院者を抑えるまでは至らなかった。

### 5、各ユニットの目標

#### <舞子>

今期の目標 1、職員間で情報を共有し、入居者へ統一したケアを提供します。

2、職員間、他職種、ご家族へ報告・連絡・相談を密に行い、サービスの向上に努めます。

3、挨拶や言葉使い等接遇を心がけ、不適切ケア及び虐待を防げるよう努めます。

#### 1、職員間で情報を共有し、入居者へ統一したケアを提供します。

日々の業務の中で、入居者の情報や支援方法等を相談し、又は会議等で検討することで、比較的統一した関わり方は出来たように感じる。今後、ヒヤリハットの記入など事故防止の意識を高め、ユニット間でも共有する必要がある。

- 2、職員間、他職種、ご家族へ報告・連絡・相談を密に行い、サービスの向上に努めます。  
職員間、多職種、ご家族とのコミュニケーションは必要に応じて取ることができた。今後はどの職員でも報告・連絡・相談がスムーズに行え、対応できるよう取り組んでいきたい。
- 3、挨拶や言葉使い等接遇を心がけ、不適切ケア及び虐待を防げるよう努めます。  
挨拶等はできたと思うが、言葉使いなど丁寧に関わる意識をもっと高く持つ必要があると感じた。

#### <須磨ノ浦>

- 今期の目標
- 1、ユニット職員間や他職種の方とコミュニケーション  
(報告・連絡・相談)を密にし、連携が出来るようにします。
  - 2、EPA 候補生との関わりを通じて、他国と日本の相互理解を図れるようにします。
  - 3、施設理念に基づき、入居者がその人らしい生活を送れるように努めます。
- 1、ユニット職員間や他職種の方とコミュニケーション(報告・連絡・相談)を密にし、連携が出来るようにします。  
職員・他職種との報連相に関しては、申し送りの用紙等を用いて、二重に確認をする事で大きな問題はなかったと思われる。
- 2、EPA 候補生との関わりを通じて、他国と日本の相互理解を図れるようにします。  
職員をはじめ入居者も EPA 候補生と関わりを持つことで、正しいコミュニケーションについて考えたり、学ぶ機会を得る事ができた。
- 3、施設理念に基づき、入居者がその人らしい生活を送れるように努めます。  
入居者のペースに合わせた支援を心がけるよう、日常的に職員に伝える事で意識が高まってきていると思うが、不適切と思われるケアがあったので、次年度はないようにしていきたい。

#### <淡路>

- 今期の目標
- 1、ユニット内の整理整頓を行い、入居者様が安心して安全に過ごせる生活環境を作ります。
  - 2、報告・連絡・相談をしっかり行い、サービスの質の向上を図ります。
  - 3、ユニット内の情報を共有し、事故や不適切ケア、虐待を未然に防げるよう努めます。
- 1、ユニット内の整理整頓を行い、入居者様が安心して安全に過ごせる生活環境を作ります。  
ユニット内の整理整頓が上手く出来てユニットはきれいに保てていたように思います、入居者様も比較的安心して過ごせている様子でした。
- 2、報告・連絡・相談をしっかり行い、サービスの質の向上を図ります。  
食事レクやおやつレクを行い、普段より職員と入居者様とのコミュニケーションが図れました。
- 3、ユニット内の情報を共有し、事故や不適切ケア、虐待を未然に防げるよう努めます。  
ユニット内の情報を共有しきれいな事があった、抜けが無いように職員同士連携を強化していくようにします。

#### <一の谷>

- 今期の目標
- 1、働きやすいユニット、人材育成強化に努めます。
  - 2、環境整備、コスト削減に努めます。
  - 3、ユニットでの食事レクリエーションを定期的(偶数月)に開催します。



### 1、働きやすいユニット、人材育成強化に努めます。

人材育成以前に働く姿勢・意欲に欠如する職員が見受けられる1年だった。特定の職員の指導に時間を費やすことが多かった。

### 2、環境整備、コスト削減に努めます。

ユニット内の環境整備は概ねできているが、入居者の私物の管理や居室の環境整備に目が届かず苦情に繋がったケースが発生した。

### 3、ユニットでの食事レクリエーションを定期的(偶数月)に開催します。

定期的に食事レク・おやつレクを実施できたが、取り組む姿勢に欠ける職員が目についた。

## <離宮>

今期の目標 1、職員同士で注意し合える職場作りを目指し、介護事故、不適切ケアの減少に努めます。

2、行事食の開催や余暇活動等を充実させ入居者と関わる時間を作ります。

3、ユニット内での整理整頓、報告、連絡、相談を徹底しサービスの向上を目指します。

1、職員同士で注意し合える職場作りを目指し、介護事故、不適切ケアの減少に努めます。

職員同士で情報を共有し介護事故、不適切ケアの減少に努めた。

今年度は重度化したことで事故件数は減少した。

2、行事食の開催や余暇活動等を充実させ入居者と関わる時間を作ります。

1月に村雨ユニットと共同でおやつレクを開催。春頃にはナナファームへの外出を実施できた。

3、ユニット内での整理整頓、報告、連絡、相談を徹底しサービスの向上を目指します。

細かなチェックが出来ておらず一部の入居者の居室よりハエが発生し問題が生じた。

## <村雨>

今期の目標 1、入居者様との関わりを大切にし、暮らしやすい環境を提供出来るように職員間の報告、連絡、相談を密にします。

2、日々の身体と心の小さな変化に気づき、心身ともに良い生活が送れるように支援します。

3、個々の生活を大切にし、安心してすごしていただける様にあらゆる生活空間の整理整頓、環境整備に努めます。

1、入居者様との関わりを大切にし、暮らしやすい環境を提供出来るように職員間の報告、連絡、相談を密にします。

入居者様との関わりは積極的に行えた。そこから暮らしやすい環境作りに生かす事がなかなか出来なかった事が今後の課題。

2、日々の身体と心の小さな変化に気づき、心身ともに良い生活が送れるように支援します。

3月に一部入居者に疥癬感染が見られ、心身ともにご負担をかける結果となってしまった。

3、個々の生活を大切にし、安心してすごしていただける様にあらゆる生活空間の整理整頓、環境整備に努めます。

ユニット内の整理整頓が不十分であり、安心して暮らして頂ける環境とは言い難い状況であった。

## <介護支援専門員>

今期のテーマ 利用者や家族が持っている「生活の力や介護の力」を把握する

今期計画 1、支援経過記録の作成

2、状態変化時の対応

1、支援経過記録の作成

月1回のケアカンファレンスの実施を行う事で、利用者の変化を知り、共有できる場作りができたと思う。記録に関しても、必要時は支援経過記録を多職種に配布し共有ができたが、時間も要したこともある。また、課題の抽出が不十分な所もあり、今後多職種からの視点作りが出来るように、課題分析シートの活用を今後検討して、より良いサービスの提供ができるようにして行く。

2、状態変化時の対応

退院時については病院と連携し情報収集を行い、退院時からの支援については対応出来た。しかしADL変化や体調変化時・褥瘡発生時等の情報の共有ができない事が多かった。発信・共有についての見直しも必要である。日誌の閲覧や各部署からの聞き取りも出来るように時間を作り、情報収集に努め計画書の変更を随時出来るようにして行く。

## <看護職員>

今期のテーマ「施設看護の役割を明確化する」

今期計画 1、業務を見直し、整理、改善する

2、統一した看護を提供する

1、業務を見直し、整理、改善する

①内服薬については、今までの方法を改善するために、薬局及び嘱託医師に相談を行い、効率的かつ作成間違いを最小限にする業務を組み立てることができた。

②看護師の入れ替わりが多く、体制作りを行う中で退職となり達成できなかった。今後の課題となった。

③共有化を図るために業務マニュアルの作成は少しずつ出来た。しかし、新メンバーとなり、小人数での方法を念頭に置き、マニュアルの見直しを行っていく必要がある。

2、統一した看護を提供する

①看護師間の情報共有が不十分で、看護師個々の思いの指示を出すことがあった事でユニットから戸惑う声もあった。介護職員へ積極的に働きかけて情報共有が図れたと言えず、今後の課題となった。

②介護の現場より、的確な情報提供を受けて看護判断ができ、看護の質の向上を図れなかったと感じている。

③多職種と適切に情報提供を行う関係性が構築出来ないまま時間が経過したために看護師の不安が高まって退職につながったことは、繰り返さないように注意すべき点である。まずは、看護師の定着が急務と感じる。

<実績>特養入所者

年月日	対象	対象人数	実施機関	検査内容
9月20日	入所者	55名	関西健康倶楽部	・胸部レントゲン
11月	入所者	56名	坪井クリニック	・インフルエンザ予防接種
12月	入所者	60名	坪井クリニック	・健康診断

医療的な管理を要する利用者（令和2年年3月現在）

- ・経管栄養・・・3名                      ・ペースメーカー・・・3名                      ・褥瘡・・・3名
- ・処置（天疱瘡）・・・1名                      ・疥癬発症・・・3名

入院及び受診者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院者数	3	5	5	4	9	12	10	11	10	9	3	3
通院者数	32	21	28	28	23	22	30	18	26	25	21	23

衛生管理（職員定期健康診断等）

年月日	対象職員	対象人数	実施機関	検査内容
9月20日	全職員 40歳以下	19名	関西健康倶楽部 (その他)	・診察 ・身長 ・体重 ・聴力 ・視力 ・血圧 ・尿検査 ・血液検査 ・検便 ・胸部レントゲン
9月20日	全職員 40歳以上	42名	関西健康倶楽部 (その他)	・問診 ・触診 ・身長 ・体重 ・聴力 ・視力 ・血圧 ・心電図・尿検査 ・検便 ・血液検査 ・胸部レントゲン
5月	夜勤業務従 事者	28名	須磨シニアコミュ ニティ	・診察 ・身長 ・体重 ・尿検査 ・視力 ・血圧 ・聴力(会話法)
5月	全職員	48名	須磨シニアコミュ ニティ	・腰痛問診
11月	夜勤業務従 事者	28名	須磨シニアコミュ ニティ	・診察 ・身長 ・体重 ・尿検査 ・視力 ・血圧 ・聴力(会話法)
11月	全職員	48名	須磨シニアコミュ ニティ	・腰痛問診
11月	全職員 (派遣職員 を含む)	76名	坪井クリニック	インフルエンザ予防接種
3月	夜勤業務従 事者	27名	須磨シニアコミュ ニティ(嘱託医師)	・問診 ・身長 ・体重 ・視力 ・血圧 ・心電図 ・尿検査 ・血液検査

職員健康診断結果

	異常なし	軽度異常	経過観察	要医療	要精検	治療中
人数	8名	2名	25名	1名	11名	14名

## <管理栄養士>

今期のテーマ「充実した食事内容で喫食率の向上を目指す」

- 今期計画 1、栄養ケアマネジメントを活用し、低栄養の改善・予防に努める  
2、年間行事食等の食事の充実を図る

### 1、栄養ケアマネジメントを活用し、低栄養の改善・予防に努める

①体重・アルブミン値・食事摂取量を基に高リスク者を早期に発見できた。

しかし、全ての職種と高リスク者への対応に取り組むまでは至らなかったため、もう少しこまめに多職種と情報共有する必要がある。

②可能な限りミールラウンドを行い、入居者の食事状況等を把握し、必要に応じて栄養補助食品の使用に繋げることができた。

### 2、年間行事食等の食事の充実を図る

①委託会社に年間の行事食の計画を立ててもらい、毎月行事食を実施することができた。特に味めぐり（郷土料理）が好評だったので、次年度も引き続き継続していきたい。

②嗜好調査は実施したが、目に見えるような形で献立に反映することができなかったので、要望が多い献立を定期的に取り入れる等を検討していく。

③昨年度に比べると食事レクやおやつレクの実施回数はかなり増えたが、実施するユニットが偏っていたため、2ユニットでの合同開催や年間予定を立てる等の工夫が必要である。

## 令和2年度 嗜好調査結果

令和2年3月31日

### <目的>

入居者様の嗜好や食事傾向を把握し、食事の提供に反映させるため

### <対象者>

入居・ショートの入居者様

### <調査方法>

アンケート形式による聞き取り

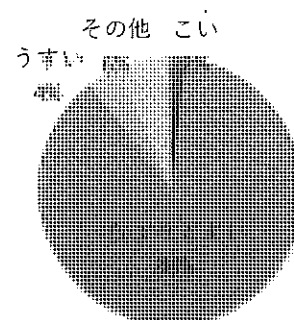
### <回答数>

48名

### <結果>

1. 食事の味付けはどうか。

こい	ちょうどよい	うすい	その他
1	42	2	3

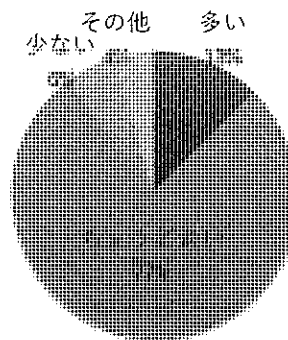


88%の方にちょうどよいとの回答をいただきました。

その他は、わからない、味が合わないとの回答がありました。

2. 食事の量はどうか。

多い	ちょうどよい	少ない	その他
6	37	3	2



77%の方にちょうどよいとの回答をいただきました。  
 その他は、量を5割にしている、わからないとの回答がありました。

3. 好きな料理（食べ物）は何ですか。

- ・特になし 6名
- ・何でも食べる 5名
- ・わからない 3名
- ・魚（海鮮類・鮭含む） 9名
- ・肉（ステーキ含む） 7名
- ・寿司 4名
- ・野菜（ごぼう・大根含む） 4名
- ・果物（すいか含む） 2名
- ・カレー
- ・ハヤシライス
- ・ハンバーグ
- ・すき焼き
- ・肉じゃが
- ・うなぎ丼
- ・パン
- ・酢の物
- ・豆腐
- ・漬物
- ・脂の多い料理（天ぷら・肉など）

4. 嫌いな料理（食べ物）は何ですか。

- ・特になし 27名
- ・わからない 1名
- ・魚（青魚・さば含む） 6名
- ・肉（鶏肉・豚肉含む） 4名
- ・野菜（トマト・オクラ） 3名
- ・酢の物 3名
- ・貝類
- ・バナナ
- ・牛乳
- ・辛い物
- ・舌触り（口の中に粒が残る）が悪い物

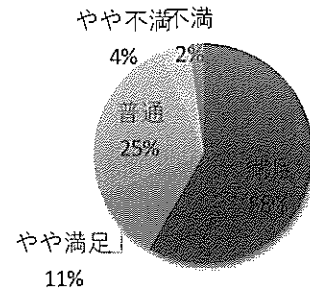
5. 好きなおやつは何ですか。

- ・特になし 12名
- ・何でも食べる 8名
- ・わからない 1名
- ・おかき・せんべい 6名
- ・甘い物 5名
- ・ケーキ 3名  
（チョコレートケーキ含む）
- ・カステラ 3名
- ・クッキー 2名
- ・チョコレート 2名
- ・パン 2名
- ・たい焼き
- ・三笠まんじゅう
- ・まんじゅう
- ・ようかん
- ・もち
- ・果物
- ・ビスコ
- ・チョコレートは嫌い

6. 食事には満足していますか。

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
28	5	12	2	1

69%の方に満足・やや満足との回答をいただきました。  
 今後も今回の結果を踏まえ、さらに満足していただける  
 ような食事を提供していきたいと思えます。



7. 食べたい物は何ですか。

- |                 |     |             |
|-----------------|-----|-------------|
| ・特になし           | 24名 | ・揚げ物        |
| ・わからない          | 2名  | ・オムレツ       |
| ・寿司 (にぎり寿司含む)6名 |     | ・酢の物        |
| ・果物             | 4名  | ・トマト        |
| (バナナ、りんご、みかん含む) |     | ・カニとカキ      |
| ・肉              | 2名  | ・いろいろな物     |
| ・豆腐             | 2名  | ・普通の食事が食べたい |
| ・うどん            |     |             |
| ・焼きそば           |     |             |
| ・お好み焼き          |     |             |

8. その他、ご意見をお聞かせください。

- ・もっと魚が食べたい。
- ・もっと甘い物が食べたい。
- ・マカロニをもう少しやわらかく茹でてほしい。
- ・たまには寿司を出してほしい。
- ・鮭ハラスが好きです。

<まとめ>

今回の嗜好調査では、食事の味付けや内容につきましては、概ね満足、やや満足が多い結果になりましたが、栄養会議では、献立内容によってボリュームや味付けにバラつきがあるとの意見もありました。

ボリュームのない献立内容の見直しと、できるだけ味付けにバラつきが出ないようにチェック体制を整えていきたいと思えます。

また、寿司、生果物、肉が食べたいという意見が多数あったことから、嗜好調査をもとに嗜好につきましては、魚(海鮮類)、肉、寿司を好まれる結果となりました。

また、寿司、生果物、肉が食べたいという意見が多数あったことから、嗜好調査をもとにできるだけ嗜好に沿った喫食率の高い献立を多く取り入れていきたいと思えます。

ご協力ありがとうございました。

## ●ショートステイ

今期のテーマ 「選ばれるショートステイを目指す」

- 今期計画
1. 事業所との連携・情報交換の活用
  2. 稼働率の安定 103%達成
  3. 安心、安全な場所の提供、ご自宅と変わらない環境整備
  4. ショートステイユニットの目標

### 1、事業所との連携・情報交換の活用

#### ①サービス担当者会議への出席

⇒可能な限りサービス担当者会議には出席し、プランの更新、会議録の回覧を行い、利用者の情報把握に努めた。

#### ②緊急的な利用の対応

⇒緊急的な利用になったケースはほぼなかった。虐待、介護者不在などの入所相談センターからの依頼もなかった。受け皿として、幅を広げた受け入れの確保を他部署ともっと調整しながら確立していかなければならなかった。

#### ③特養へ繋がる利用の推奨、相談

⇒病院から退院日を決められているケースがあり、西区であったが受け入れを行った。過去にも受け入れた事があり、今後も受け入れが可能と連携が取れる形となった。

### 2、稼働率の安定 103%達成

#### ①ショートステイのリピーターの確保、安定化を図る

⇒新規の依頼が週末となり、土～月に掛けて集中した。平日のリピーターもいたが、受診が多くなった事で、そちらの居宅からの依頼は止まってしまった。

#### ②空床情報の定期的な発信と空きベッドの活用

⇒老施連の情報の更新と定期的な居宅へのFAXを行ったが、訪問は十分ではなかった。

#### ③垂水区、西区、兵庫区など他区への新規開拓

⇒兵庫区は3.4件と増えた時期もあったが、グループホームなどの他の施設への入所があり、継続出来なかった。また片道の送迎時間が単独でも30分以上となるケースに無理が生じる事から、十分な開拓が出来なかった。隣接区だけでは件数は伸びなかったが、もっとアピール出来ていたのではないかと91.41%の結果は反省です。

### 3、安心、安全な場所の提供、ご自宅と変わらない環境整備

#### ①事故をおこさない環境作り

⇒事故が起きた際の環境面での検証が十分ではないケースがあった。(テレビの位置に伴う電源コードの位置など)

#### ②馴染みの出来る関係作りに支援する

⇒利用者から希望があれば、そちらのユニットを利用してもらうようにしたが、なぜ偏るのかの検証が出来ていなかった。

#### ③余暇活動の検討

⇒体操を中心に取り入れ、他に塗り絵なども定期的に行ったが、回数的には十分ではなかった。

#### 4、ショートステイユニットの目標

##### ①ケアマネージャーとの連携、家族への報告の徹底

⇒連絡帳への記載が十分に出来ていたのかどうか、家族からの問いに対して回答が出来ていたかどうか各自が把握しているとは言い難い結果となった。

##### ②居室環境の整備と行事、余暇活動の提供、個別介護計画書に沿った記録の充実とケアの検討会の実施

⇒転倒の危険性がある利用者に関してはよりトイレに近い部屋や見守りが出来る部屋にする事で、直接の事故を防ぐ事は出来たが、余暇活動においては十分ではなかった。

##### ③荷物の忘れ物のチェック、着衣を含めた整容の管理に努め、安心して在宅に送り出す。

⇒衣類が他の利用者に入れ替わっているなどのケースがあり、洗濯後の確認をしていたが、早めに荷物にしまうなどがあった為、確認までが十分ではなかった。

##### ④業務改善(超過勤務の削減)、整理整頓、有給休暇の取得

⇒一人職員が退職に至りマイナスのままで来ている事から、超過勤務においては特養よりも多くなってしまったが、利用者の人数に合わせて1時間でも早く退勤出来ており、職員の意識はあった。

整理整頓においては、十分ではなく、不使用物品等の破棄を行う必要がある。有給休暇は職員に確認を行いながら、年5日以上は消化は達成できた。

##### ⑤定期的な介護技術の見直しや接遇について、ユニット内で勉強会を開催

⇒ユニット内の話し合いなどは定期的に行われていたが、書面で残っていない事が多い。

##### ⑥安全な送迎

⇒デイでの職員転倒事故があり、教訓としてショートでも急がず慌てない事を念頭におき業務に努めていた。運転においては運転手を中心に都度注意を促した。

##### ⑦コストダウンを考えた使用電源等の工夫と業務の遂行

⇒不必要な電源はオフにするなど節電に努めた。

##### ⑧感染症に対応できる衛生面の管理

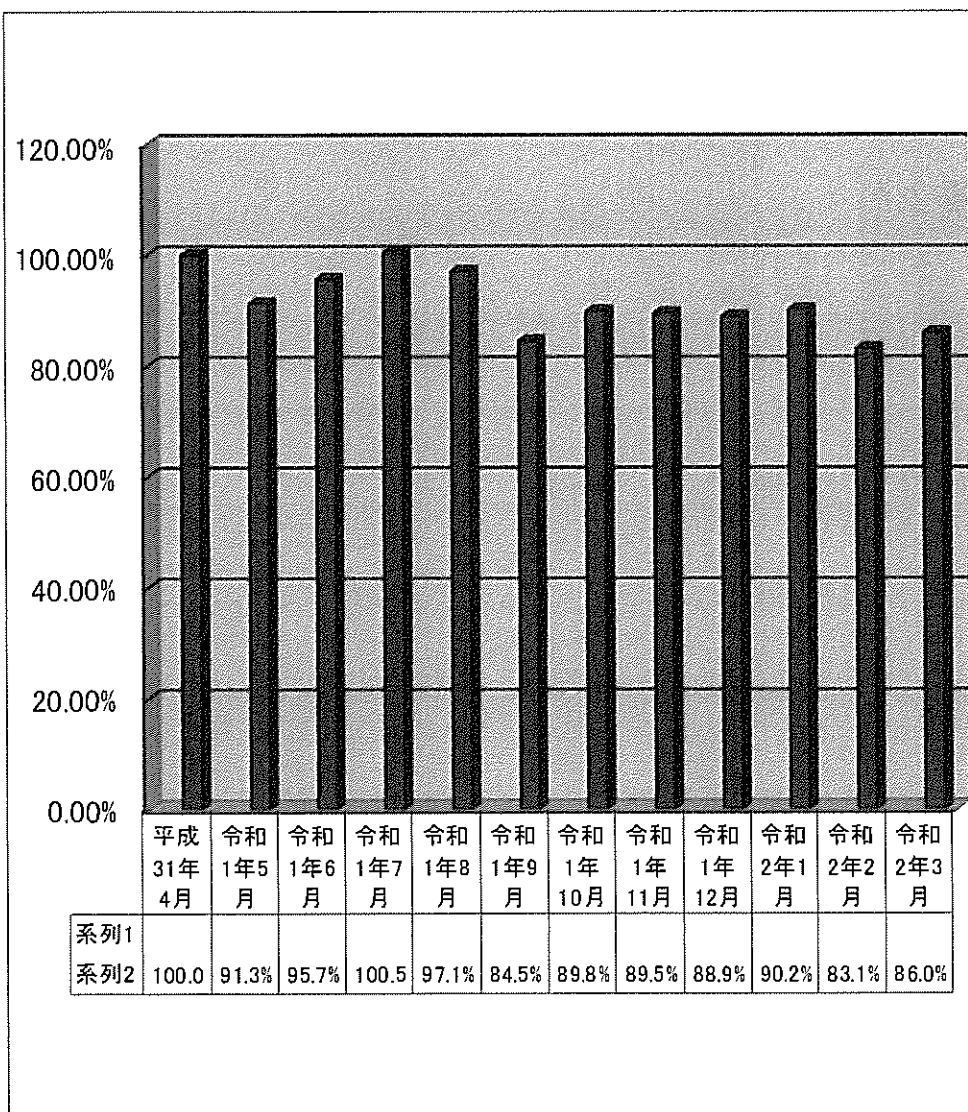
⇒居室やリビング内を含め清掃に努めて来たが、公用車の清掃は十分ではなかった。



# 令和1年度稼働率

(ショートステイ)

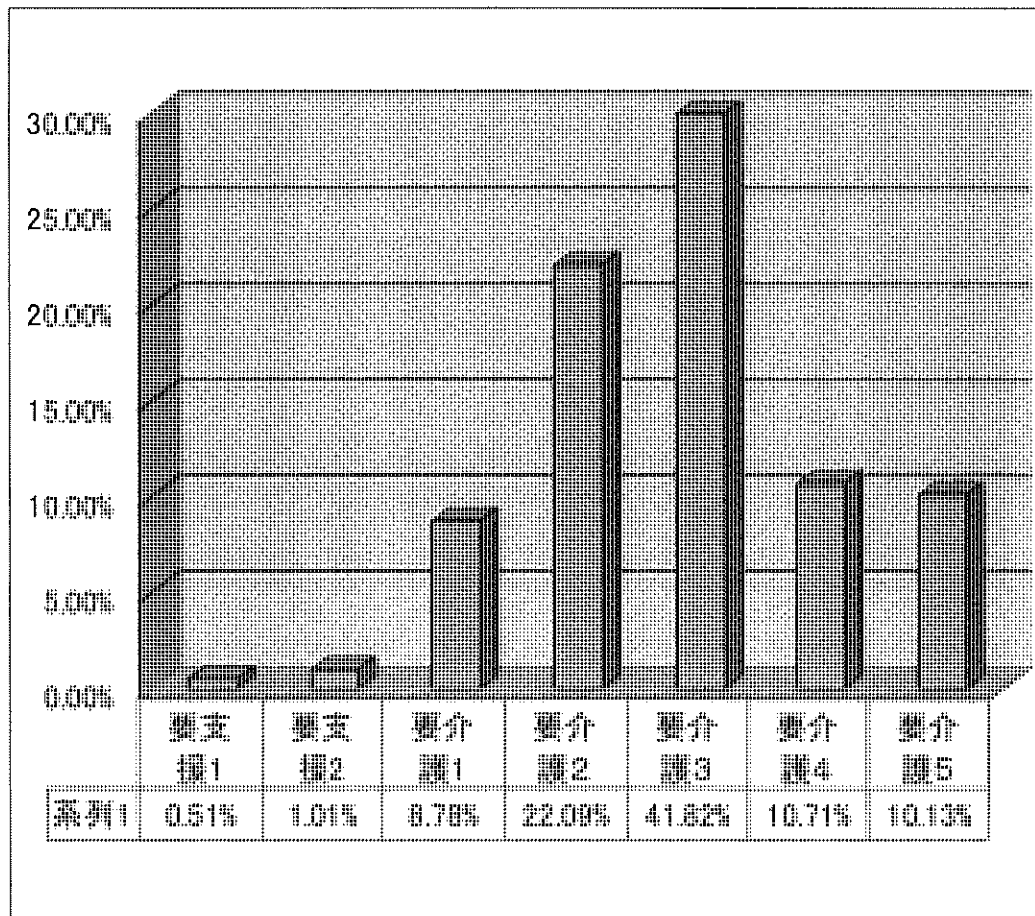
	日数	利用実日数	稼働率
平成31年4月	600	600	100.0%
令和1年5月	620	566	91.3%
令和1年6月	600	574	95.7%
令和1年7月	620	623	100.5%
令和1年8月	620	602	97.1%
令和1年9月	600	507	84.5%
令和1年10月	620	557	89.8%
令和1年11月	600	537	89.5%
令和1年12月	620	551	88.9%
令和2年1月	620	559	90.2%
令和2年2月	580	482	83.1%
令和2年3月	620	533	86.0%
平均	7320	6691	91.4%



## 介護度別利用日数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成31年4月	3	3	52	180	266	54	42
令和1年5月	3	0	40	119	275	67	62
令和1年6月	3	5	36	129	251	92	58
令和1年7月	3	0	33	145	270	86	86
令和1年8月	3	5	70	156	255	64	49
令和1年9月	3	8	62	126	205	62	41
令和1年10月	3	11	64	106	258	76	39
令和1年11月	3	4	50	104	273	57	46
令和1年12月	3	9	49	120	251	42	77
令和2年1月	3	9	34	129	216	64	104
令和2年2月	3	9	67	122	186	36	59
令和2年3月	3	8	61	119	238	54	50
合計	36	71	618	1555	2944	754	713
平均	0.51%	1.01%	8.78%	22.09%	41.82%	10.71%	10.13%

## 平均介護度 2.7



## ●デイサービスセンター

利用定員数 30名

介護正職員数 10名(男1名 女9名 内P職員5名 派遣0名)

看護師職員数 2名(男0名 女2名 内P職員0名 派遣1名)

今期のテーマ 『調和』

今期計画 実質稼働率75%の維持

- 1、魅力あるデイへの転換
- 2、平均稼働率の向上と収益性向上
- 3、業務内容・任務分担の改善
- 4、季節行事・外出行事の企画

### 1、魅力あるデイへの転換

- ① 音楽療法、太極拳、大正琴等のボランティアの先生に来て頂き、機能訓練を目的としたメニューを取り入れました。
- ② 利用者様一人一人に行うスタッフの声掛けを増やしました。
- ③ スタッフが得意な部分を仕事に生かす様にしました。

### 2、平均稼働率の向上と収益性向上

- ① 現利用者様の細かいご様子を電話でケアマネージャー様にお伝えしてケアマネージャー様との親交を深めました。
- ② 水曜日、木曜日の2日続いた曜日が少なかった為、まず木曜日に力を入れて増やす様に心掛けました。
- ③ 支援の方の受入れを抑え、ケアマネージャー様に声掛けをして介護度の高い方の受入れを積極的に行いました。

### 3、業務内容の改善・任務分担の改善

- ① 月に1回デイ会議、レク会議を行う。問題が発生した際は臨時でスタッフ会議を行い話し合う様にしました。
- ② リハビリ体操、脳トレーニング等は毎日スタッフをかえ、利用者様が飽きないよう内容を変えて行い、1週間単位で行われていた全体レクリエーションのゲームも当日ご利用の利用者様に合わせて日替わりで行う様にしました。
- ③ お昼のコーヒー、ゼリー提供をなくすことにより必要だったスタッフを無くし、午後からのスタッフを手厚くして時間内に記録を仕上げる様にしました。
- ④ スタッフ同士の声掛けの周知徹底を行い、利用者様のサービス向上を目指しました。

### 4、季節行事・外出行事の企画

- ① ナナファームや100円均一のお買い物ツアー、観梅ツアー、粉物パーティー(お好み焼き、たこ焼き、ホットケーキ)を行いました。

## ●須磨シニアケアプランセンター

介護支援専門員数 2名(男0名、女2名 内P職員0名)

今期のテーマ 「相談しやすい、開かれた居宅を目指す」

- 今期計画
- 1、利用者の生活の質の向上
  - 2、介護支援専門員としての質の向上
  - 3、介護支援事業所としての質の向上

### 1、利用者の生活の質の向上

- ①利用者の暮らしを理解し、その人らしい自立した生活ができるように支援する。
- ②一人暮らしや認知症の高齢者、中重度の要介護の方も地域で安心して暮らせるように支援する。
- ③介護の重度化予防をふまえ、要支援者・要介護者の生活機能維持を支援する。

⇒「利用者自身が必要とするケアを選んでいるか？」

「周囲が向上に必要な環境整備をしているか？」

「利用者が生きがいをもって生活をしているか？」

を念頭に置いて介護サービスを提供して支援できたと思う。また、サービス先行ではなく利用者目線に立って、“できること”を続けられるように支援を行った。

### 2、介護支援専門員としての質の向上

- ①施設内での研修を開催するとともに、各種外部研修会への参加により、専門的な知識と技術を習得するように努める。
- ②新規利用者の相談が毎月2件以上入るように広報活動を積極的に行う。
- ③地域包括や病院の医療連携室などとの連携を密にして、多方面から相談が入るように信頼関係の構築を図る。

⇒月に1回は外部研修会に参加できた。また、介護支援専門員更新研修を受け、年々変更される介護保険制度の理解と様々な事例を検討することによって、より良いケアマネジメントを勉強することができた。近隣の病院からの依頼も徐々に増えて、ほぼ毎月、地域包括支援センターや病院等からの新規の相談や依頼があったが、利用者の高齢化で入所や死亡で終了となるケースも多くなったので、担当件数が思うほど伸びなかった。

### 3、介護支援事業所としての質の向上

- ①毎月行う居宅会議において、情報の共有を図り、困難事例においても事業所全体で対応できる体制をとっていく。
- ②地域ケア会議や、各地域包括支援センターが主催する会議等に積極的に参加し、事例を提供していく。
- ③地域の課題解決に向けて、地域包括支援センターと連携して取り組んでいく。

⇒各担当利用者については日常的に情報を共有しており、担当者が休みでも緊急の場合は対応できている。えがおの窓口連絡会にはほぼ毎回参加をして、情報を共有できた。困難な事例に対しては、地域包括支援センターに相談を行い連携をして解決するケースもあった。

須磨シニアコミュニティ委員会

令和1年度 衛生委員会 報告書

委員長 久保 晃

副委員長 坪内 英一、齊木 俊枝

委員 岡部 絹代、猪部 千秋

本多 翔太、西村美智子

委員会開催日程 年間 12 回

開催月 毎月

予算 0 円

主な行事及び活動予定

目 標 : 職員の健康管理、研修会、勉強会の推進

⇒健康診断は予定通り行えた。研修会及び勉強会は職員の転落事故で行ったのみである。

活 動 : 職員の健康管理、増進、健康診断

・ 職員の腰痛チェック、腰痛予防の増進

・ 風邪対策、インフルエンザ対策他

・ 安全管理規定の遵守

⇒産業医及び衛生管理者の巡回の遂行、ラジオ体操の啓発

⇒産業医及び衛生管理者の巡回結果に基づく課題への取り組み

⇒腰痛予防、健康管理及びチェックの増進、啓発

須磨シニアコミュニティ委員会

令和1年度 感染対策・褥瘡予防委員会 報告書

委員長 齊木副施設長

副委員長 中村 真夕

書記 福森 広大

委員会開催日程 年間 12 回

開催月 毎月第2金曜日

予算 0 円

主な行事及び活動予定

目 標 : ①新規の褥瘡・創傷の発生予防に努める ②褥瘡再発ゼロを目指す

③手指消毒を初めとする感染対策の徹底

活 動 : ◇定期的な研修会の開催

・6/14 食中毒対策についての勉強会

・11/22 インフルエンザ対策についての勉強会

・11月の毎週木曜日 嘔吐物処理の勉強会

◇マニュアルの見直しと完成

→不足部分、訂正部分は次年度に送る

◇委員会の定期開催

新たに5Sチェックの中身の改訂・実施、持込食品に関する文書を作成した

## 須磨シニアコミュニティ委員会

### 令和1年度 教育推進（介護サービス向上）委員会 報告書

委員長 竹下 真実

副委員長

書記 持ち回り

委員会開催日程 年間 3 回

開催月 5月 9月 3月

予算 0 円

#### 主な行事及び活動予定

目 標 : 感染対策委員会や虐待防止委員会などの委員会に研修依頼をする

外部研修を受講した職員にフィードバック研修を依頼して日程などの調整をする

活 動 : ・外部研修を受講した職員にフィードバックの勉強会を開催依頼し、日程調整などのフォローを実施した。

・平野歯科に口腔ケアに関する勉強会の依頼をし、実施した。

・感染対策委員会や虐待防止委員会に研修を依頼、実施してもらった。

・新人職員を中心に対象としたおむつの勉強会を実施した。

## 須磨シニアコミュニティ委員会

### 令和1年度 苦情処理委員会 報告書

委員長 坪内 英一

副委員長 宮垣、阪本、内海、濱中

書記 福島副主任他

委員会開催日程 年間 1 回

開催月 3月23日

予算 0 円

#### 主な行事及び活動予定

目 標 : ①早期解決・・・概ねできている。

②第三者委員への報告・・・決算時に報告

活 動 : ・事故発生防止の観点や身体拘束廃止・高齢者虐待の観点よりの苦情は今年度発生しなかった。今年度の苦情は4件あり、いずれも令和2年になってからの事案である。

・事業報告による公表をいたします。ただ今年度は新型コロナウイルスの発生の要因により家族会をすることも危ぶまれており開催出来ない可能性もある。

今年度の4件の苦情については以下のとおりである。

①ショート利用者を受診する連携不足 ②食事介助時の配慮不足

③特養での衣類管理不足 ④キーパーソンとの連携不足



須磨シニアコミュニティ委員会

令和1年度 行事委員会 報告書

委員長 緒方 裕一

副委員長 \_\_\_\_\_

書記 \_\_\_\_\_

委員会開催日程 年間 11回

開催月 5・6・7・8・9・10・11 (2)

12・1・2月

予算 0円

主な行事及び活動予定

目標評価 : ①季節の行事で敬老会・クリスマス会を実施することができた

②行事ごとに担当制を導入したが、委員編成や職員諸事情で半分以上予定通りに進める事が出来なかったが、状況に応じて対応することが出来た。

活動 :

4月：花見 \*各ユニット単位 担当：阪本

7月：夏祭り 担当：小島・山下

9月：敬老会 担当：岡部・福元

12月：クリスマス会 担当：三丸・東

12月：餅つき 担当：阪本・嵐



須磨シニアコミュニティ委員会

令和1年度 身体拘束廃止・虐待防止委員会 報告書

委員長 福島 基夫

副委員長 阪本 康平、宮垣 知剛

書記

委員会開催日程 年間 7 回

開催月 4、7、10、11、1月

予算 0 円

主な行事及び活動予定

委員会開催日 : 4/22 7/22 10/28 11/6 11/12 1/8 1/27 計7回

・3ヶ月ごとのチェックリスト実施とそれに基づく勉強会の開催。

勉強会開催日 : 5/30 8/30 12/21※6月と3月は施設長より全体会議にて講義とビデオ鑑賞

内 容 : 講義とグループワーク

・神戸市への不適切ケア疑い報告 2件 : 11/6 と 1/8 (共に委員会開催し検証する)

・評価と課題

チェックリストに上がったチェック項目について、勉強会を開催しグループワーク等を行う。

改善が見られる項目もあったが、全体的に言葉遣い等関わり方について課題が残る。

聞き取りを行い、該当職員やユニットに関して個別に面談し指導・助言をする必要があると

感じた。来年度も身体拘束廃止、虐待防止に対する意識付けが必要である。

## 須磨シニアコミュニティ委員会

### 令和1年度 防災・防犯委員会 報告書

委員長 宇多 洋一

副委員長 緒方 裕一、久保 晃

委員 河田 直樹、阪本 康平  
松尾 翔太、濱中 育代、山下 朋子

委員会開催日程 年間 1 回

開催月 9 月

予算 0 円

#### 主な行事及び活動予定

- ・防災訓練の内容の検討（職員からの研修報告書から）と実施  
⇒毎月訓練を行うにあたり、デいの職員入れ替わりがあった事から実施内容を見直した。  
研修報告書からの内容については、訓練時に紹介を行った。
- ・職員への防災士式の習得へ向けての研修の実施（図上訓練等）  
⇒訓練の事前を研修としてPCも併用しながら研修を設けた。
- ・地域との連携として、防災訓練等への参加、見学、情報収集、啓発  
⇒他の施設の見学や地域への訓練参加を行い情報収集や啓発を行えた。
- ・必要物品の購入の順次検討（ヘルメット購入とトランシーバーの購入）  
⇒防犯用品の購入で了承を得たが、タイミングを逃し購入には至らず。
- ・F I G訓練継続、福祉避難所、備蓄食、不審者対策への取り組み  
⇒概ね上記訓練の実施は出来たが、不審者対策訓練は1回で終わってしまっている。
- ・担当者別に活動する事で、委員全員が活動し、意識を高め、災害時だけでなく、誤報時にも迅速に対応が出来る様にする  
⇒主となる委員以外にも2名の職員が参加をし積極的に活動が出来、少しは指導が出来るまでの知識を習得出来、この1年継続できたのでよかった。
- ・その他  
⇒訓練はほぼ予定通りに行えていたが、委員会は1回のみであったので十分な話し合いが出来ていなかった。

## 令和1年度 防災訓練実施状況

年月日	訓練内容	参加者	職員参加人数
平成31年4月5日、 12日、19日、26日	消火訓練・防災設備説明	施設職員・特養・デイ・ ショート職員	19名
令和1年5月17日、 24日、31日	震災津波想定避難訓練 (夜間)	施設職員 特養・ショート職員	20名
令和1年6月25日	総合防災訓練	施設職員・特養・デイ・ ショート職員	13名
令和1年7月19日	震災(津波)想定訓練	特養・ショート職員・ 宿直員	12名
令和1年8月23日	防犯研修	施設職員・特養・デイ・ ショート職員	23名
令和1年8月28日	夜間想定避難訓練	特養・ショート職員 (夜勤をする職員対応)	11名
令和1年9月7日、12 日、17日、28日	消火訓練・防災設備説明	施設職員 特養・ショート職員	24名
令和1年11月28日	総合防災訓練	施設職員・特養・デイ・ ショート職員	7名
令和1年11月29日	夜間想定避難訓練	施設職員 特養・ショート職員	12名
令和1年12月27日	夜間想定避難訓練	施設職員・特養・ ショート職員	13名
令和2年1月24日	非常食訓練	施設職員・特養・デイ・ ショート職員・利用者他	39名
令和2年1月31日	震災(津波)想定避難訓練	施設職員 特養・ショート職員	6名
令和2年2月28日	福祉避難所	施設職員・特養・デイ・ ショート職員	4名
令和2年3月20日	河川氾濫避難訓練	施設職員・特養・デイ・ ショート職員	8名

# あんしんすこやかセンター

## 令和1年度事業報告

### ●板宿あんしんすこやかセンター

#### 1. 相談内容（実績件数総数）

①総合相談支援 804件 ②介護予防支援 2396件 ③権利擁護 73件

④その他 66件

#### 2. 地域ケア会議（年2回）

	日付	圏域	テーマ	参加者数	会場
1	9/30	板宿	板宿のこれからを創りましょう	37名	板宿地域福祉センター
2	11/11	板宿	出張販売についての擦り合わせ	5名	板宿地域福祉センター
3	11/25	東須磨	認知症サポート研修	35名	東須磨地域福祉センター

#### 3. 介護リフレッシュ教室（年4回）

	日付	テーマ	講師	人数	会場
1	5/28	メイクセラピー	西須磨だんらん宗政氏	4名	板宿自治会館
2	7/26	茶話会	なし	3名	板宿自治会館
3	9/27	笑いで癒しを	上方落語協会より	9名	大黒地域福祉センター
4	12/12	茶話会	なし	4名	板宿自治会館
5	2/20	腰痛予防体操	カイロプラクティック院長	25名	大黒地域福祉センター

#### 4. 小地域連絡会、えがおの窓口連絡会（年2回）

	日付	テーマ	講師	人数	会場
1	5/23	えがおの窓口連絡会 (事例検討)	なし	11名	板宿自治会館
2	2/26	小地域連絡会 (福祉と防災)	板宿地区防災福祉コミュニティ 責任者 橋本様	24名	板宿地域福祉センター

#### 5. コミュニティサポートグループ育成支援事業

	事業名	開催回数	開催日	総数	会場
1	健康体操教室	3回	6/13 9/19 11/21	63名	和光園
2	男の料理教室	3回	5/30 10/24 2/13	36名	板宿地域福祉センター

※ 健康体操教室は今年度にて終了

男の料理教室は、運営主体が板宿ふれあいのまちづくり協議会へ移管し継続。

## ●東須磨ケアプランセンター

### 事業の主な内容

#### 1. 指定居宅サービス等の適切な利用のための「居宅サービス計画」の作成

##### 実績

担当実績は年間763件 月平均63.5件 職員の退職があり2ヶ月程担当件数の減少があったため昨年時より98%の実績となっている。

介護支援専門員数は2名体制（認定調査員を除く）であったが1月より

3名体制となっている。3名体制に見合う件数の確保は必要である。業務の見直しや勤務体制を整え特定事業所加算Ⅲを算定できるように法令を遵守し運営基準に則した運営を行うように努める必要がある。

#### 2. サービス提供の確保のため「サービス事業所との連携調整その他の便宜の提供」

#### 3. 入所を要する場合の介護保険施設への紹介その他の便宜の提供

#### 4. 要介護又は要支援認定の手続きの代理申請

#### 5. 神戸市委託の認定調査の実施

実績 認定調査件数は毎月一定ではなく年間総数419件、月平均35件で、最小件数23件に対して、最大件数42件。人員配置については、3月に専任の認定調査員が退職となり常勤の3人で兼務と予備登録を行い認定調査を行うこととなる。

#### 6. その他支援事業に関する相談等

#### 7. 令和元年度実績集計表を添付

### 東須磨ケアプランセンター 令和元年実績集計表

介護給付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付件数(国保連)	67	67	62	63	53	57	66	66	65	60	71	66	763
介護給付(国保連)	848,377	845,125	791,844	799,901	662,508	761,454	861,658	837,950	826,427	760,838	908,545	811,540	9,716,167
合計 介護給付件数	67	67	62	63	53	57	66	66	65	60	71	66	763
合計 介護給付請求	848,377	845,125	791,844	799,901	662,508	761,454	861,658	837,950	826,427	760,838	908,545	811,540	9,716,167

認定調査	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査 神戸市件数	38	29	39	35	28	44	23	27	33	37	41	42	416
認定調査 神戸市請求	172,368	131,544	176,904	158,760	127,008	199,584	106,260	124,740	152,460	170,940	189,420	194,040	1,904,028
認定調査 県外件数	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
認定調査 県外請求	0	4,320	0	4,320	4,644	0	0	0	0	0	0	0	13,284
合計 認定調査件数	38	30	39	36	29	44	23	27	33	37	41	42	419
合計 認定調査請求	172,368	135,864	176,904	163,080	131,652	199,584	106,260	124,740	152,460	170,940	189,420	194,040	1,917,312

介護給付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付(国保連)	848,377	845,125	791,844	799,901	662,508	761,454	861,658	837,950	826,427	760,838	908,545	811,540	9,716,167
合計 介護給付請求	848,377	845,125	791,844	799,901	662,508	761,454	861,658	837,950	826,427	760,838	908,545	811,540	9,716,167

介護給付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定事業所加算Ⅲ	217884	217884	201624	204876	172356	185364	214632	214632	211380	195120	230892	214632	2,481,276
介護給付(国保連)	848,377	845,125	791,844	799,901	662,508	761,454	861,658	837,950	826,427	760,838	908,545	811,540	9,716,167
合計 介護給付請求	1,066,261	1,063,009	993,468	1,004,777	834,864	946,818	1,076,290	1,052,582	1,037,807	955,958	1,139,437	1,026,172	12,197,443